

**第 52 回日本核医学会学術総会
第 32 回日本核医学技術学会総会学術大会
合同企画プログラム**

会長講演・大会長講演

10月11日(木)10:00～11:00 第1会場

司会：鳥塚 莞爾 (京都大学 名誉教授)
藤田 透 (核医学画像研究開発センター)

1. 核医学に求められる個別化医療

(北海道大学大学院医学研究科 病態情報学講座 核医学分野) 玉木 長良

2. 小動物イメージングと挑戦

(医療法人社団 南樽整形さいとう) 鈴木幸太郎

合同シンポジウム

10月12日(金)13:30～15:30 第1会場

PET 検査の質の向上を目指して：薬剤合成から検査・診断まで

司会：千田 道雄 (先端医療センター 分子イメージング研究グループ)
福喜多博義 (国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線科・情報科学科)

1. 趣旨説明：なぜ標準化が必要か

(先端医療センター 分子イメージング研究グループ) 千田 道雄

2. 標準的な診断から

(国立がん研究センター中央病院 放射線診断科) 栗原 宏明

3. PET 薬剤院内製造の標準化

(放射線医学総合研究所 分子イメージング研究センター) 脇 厚生

4. PET 撮像の標準化

(京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科) 松本 圭一

5. 行政の立場から

(厚生労働省医薬食品局審査管理課医療機器審査管理室) 高江 慎一

合同特別講演

10月11日(木)13:15～14:15 第1会場

司会：玉木 長良 (北海道大学大学院医学研究科 病態情報学講座 核医学分野)
鈴木幸太郎 (医療法人社団 南樽整形さいとう)

ノーベル化学賞を受賞して

(北海道大学 名誉教授) 鈴木 章

市民公開講座

10月13日(土)14:00～16:00 第1会場

「知っておくべき放射線の基礎」

司会：玉木 長良 (北海道大学大学院医学研究科 病態情報学講座 核医学分野)
伊藤 和夫 (恵佑会札幌病院 放射線画像センター)

1. 放射線と医療

(北海道大学大学院医学研究科) 梅垣 菊男

2. 生物への影響

(京都医療科学大学 医療科学部 放射線技術学科) 大野 和子

ランチョンセミナー 1 10月11日(木)12:15 ~ 13:15 第1会場

座長：宇野 公一（順天堂大学 医学部・外苑東クリニック）

肺癌手術の最前線と PET/CT の意義

（広島大学 腫瘍外科）岡田 守人

共催：日本メジフィジックス株式会社

ランチョンセミナー 2 10月11日(木)12:15 ~ 13:15 第3会場

座長：千田 道雄（先端医療振興財団 先端医療センター研究所・分子イメージング研究 GL 兼映像診療科）

アミロイド PET イメージング

（東京都健康長寿医療センター研究所 附属診療所）石井 賢二

共催：バイエル薬品株式会社

ランチョンセミナー 3 10月11日(木)12:15 ~ 13:15 第4会場

低被ばく、高精度診断へのアプローチ

座長：畑澤 順（大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座）

1. PET/MR-Clinical Role in Oncology

（Geneva University Hospitals）Osman Ratib

2. BrightView X with XCT における小児核医学での有用性と被曝低減の可能性

（国立成育医療研究センター 放射線診療部）北村 正幸

共催：株式会社日立メディコ / 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

ランチョンセミナー 4 10月11日(木)12:15 ~ 13:15 第6会場

座長：伊藤 健吾（国立長寿医療研究センター 認知症先進医療開発センター 脳機能画像診断開発部）

AD 周辺疾患の脳画像

（東京医科大学 老年病科）羽生 春夫

共催：エーザイ株式会社 / ファイザー株式会社

ランチョンセミナー 5 10月11日(木)12:15 ~ 13:15 第7会場

東京電力福島第一原子力発電所事故災害

座長：福田 寛（東北大学加齢医学研究所）

1. 原発事故災害に対する核医学関係者の役割

（近畿大学高度先端総合医療センター）細野 眞

2. 原発事故災害 2 年目：外部被ばくと内部被ばく

（福島県立医科大学放射線科）宍戸 文男

共催：株式会社千代田テクノル

ランチョンセミナー 6 10月11日(木)12:15 ~ 13:15 第9会場

座長：井上 登美夫（横浜市立大学大学院 医学研究科 放射線医学）

乳房専用 PET 装置による乳癌の画像診断

（京都大学大学院医学研究科 放射線医学講座（画像診断学・核医学））中本 裕士

共催：株式会社島津製作所

ランチョンセミナー 7 10月12日(金)12:15 ~ 13:15 第1会場

座長：明石 嘉浩 (聖マリアンナ医科大学 循環器内科)

日常臨床における虚血性心疾患での心筋シンチグラフィの活用

(倉敷中央病院 心臓病センター 循環器内科) 山本 浩之

共催：富士フイルム RI ファーマ株式会社

ランチョンセミナー 8 10月12日(金)12:15 ~ 13:15 第2会場

座長：汲田伸一郎 (日本医科大学 放射線医学教室)

仮) Integrated Whole Body MR/PET Imaging. The latest Examples of Clinical Application.

(Technische Universität München) Markus Schwaiger

共催：シーメンス・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 9 10月12日(金)12:15 ~ 13:15 第3会場

GE Molecular Imaging への誘い

座長：岡沢 秀彦 (福井大学 高エネルギー医学研究センター/分子イメージング展開領域 生体機能解析学部門)

1. SPECT/CT 装置 DiscoveryNM/CT 670 の使用経験 - CT を用いる事の利点 -

(慶應義塾大学 医学部 放射線科学教室) 中原 理紀

2. Automated Synthesis System for PET radiopharmaceuticals
- its history, present and future -

(Department of Radiology, Pharmaceutical Sciences and Pharmacology
The University of Pittsburgh School of Medicine)

Chester A. Mathis

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

ランチョンセミナー 10 10月12日(金)12:15 ~ 13:15 第4会場

甲状腺癌のアブレーション治療 Up to date

座長：遠藤 啓吾 (京都医療科学大学)

1. rhTSH を使用した入院でのアブレーションの経験 - 海外の知見をふまえて -

(北海道大学大学院医学研究科 病態情報学講座 核医学分野) 志賀 哲

2. 外来 30mCi 投与および rhTSH を用いたアブレーション治療の導入

(隈病院 内科) 伊藤 充

共催：佐藤製薬株式会社

ランチョンセミナー 11 10月12日(金)12:15 ~ 13:15 第5会場

循環器科クリニックが SPECT を必要とする理由

座長：中尾 浩一 (済生会熊本病院 循環器内科)

1. みんなにやさしい心臓核医学

(松山ハートセンター よつば循環器科クリニック 画像診断センター) 東野 博

2. インターベンション医が必要とする心筋 SPECT 画像

(松山ハートセンター よつば循環器科クリニック) 阿部 充伯

共催：東芝メディカルシステムズ株式会社

ランチョンセミナー 12 10月12日(金)12:15～13:15 第6会場

座長：小須田 茂 (防衛医科大学校 放射線医学講座)

SPECT VENTILATION/PERFUSION IMAGING: MAXIMISING DIAGNOSTIC ACCURACY WHILE MINIMISING RADIATION DOSE

(Faculty of Health Sciences University of Sydney) Dale Bailey

共催：Cyclomedica Australia Pty Ltd

ランチョンセミナー 13 10月12日(金)12:15～13:15 第9会場

座長：沖本 智昭 (国立病院機構北海道がんセンター 放射線治療科)

骨転移の疼痛緩和 - Sr-89 治療の臨床現場から -

(国立病院機構東京医療センター 放射線科) 戸矢 和仁

共催：日本化薬株式会社 / 日本メジフィジックス株式会社

Work in Progress 10月12日(金)16:30～18:30 第2会場

司会：尾川 浩一 (法政大学理工学部 応用情報工学科)

望月 輝一 (愛媛大学大学院医学系研究科 放射線医学)

1. 最新 SPECT/CT について

小川 昌美

共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

2. PHILIPS 核医学装置最新情報

小向 卓

共催：株式会社日立メディコ / 株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン

3. 島津製作所 核医学装置の最新動向

稲岡 祐一

共催：株式会社島津製作所

4. シーメンス分子イメージング装置の最新情報

小田川 哲郎

共催：シーメンス・ジャパン株式会社

5. 核医学機器 QC 装置

池谷 憲生

共催：千代田テクノ株式会社

合同薬剤調製セミナー 10月12日(金)15:30～16:30 第3会場

司会：長木 昭男 (倉敷中央病院)

1. 放射性医薬品の標識 I

(日本メジフィジックス (株)) 吉成 糸子

2. 放射性医薬品の標識 II

(富士フイルム RI ファーマ (株)) 伊藤栄次郎